

インド株式市場について



《2010年末から年率平均9.5%の上昇となっているインド株式市場》

インドの株式市場の代表的な株価指数であるセンセックス指数（時価総額や売買代金をベースに選定されたボンベイ証券取引所上場の30銘柄で構成される時価総額加重平均の株価指数）の2010年末から2021年12月23日までの推移を示したものが図表1である。3回ほどの調整局面が観測されるが、上昇傾向を維持しており、2010年末から2021年末(2021年12月23日の終値ベース)までの年平均成長率は9.8%となっている。これは同じ期間のニューヨークダウ工業株30種平均の10.8%を若干下回るが、日経平均株価の9.9%とほぼ同等の水準になっている。

それでもインドの株式市場が注目されている理由としては、インドが中国と並ぶ約14億の人口規模となっているうえ、平均年齢が低い（若い人が多い）ために今後も生産年齢人口の増加が見込まれることから、中期的に高水準の経済成長が続く期待が大きいことが挙げられる。

図表1 センセックス指数の推移



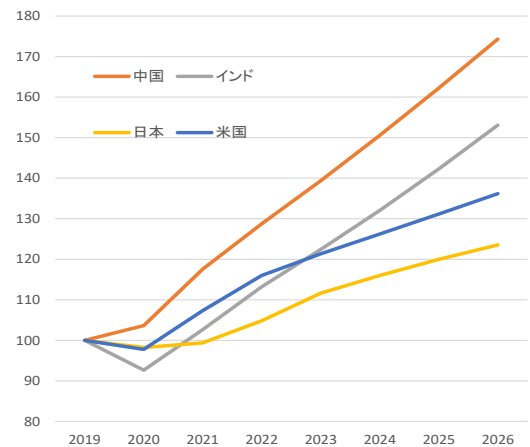
出所 Investing.comのデータもとに当社作成

《人口構成の恩恵》

インドの年齢帯別人口構成比（2019年、以下同様）をみると40歳未満人口の全人口に占める割合が男性36.3%、女性32.6%となっている。これは中国の男性27.6%、女性25.0%や日本の男性19.6%、女性18.7%に比べて若年層の全人口に占める割合が極めて高いことを示している。また、2019年時点でインドと中国の人口は同規模だが、以上のような人口構成の差によってインドは2050年頃まで人口増加が予想されるのに対して中国は2030年頃から人口が減少に転じる予想となっている。

IMFの2026年までのGDP予測(2021年10月時点)によると、2019年を100とした場合、2026年の水準は中国174、インド153、米国136、日本124となっており(図表2)、インドは2026年まで米国や日本を上回るGDP成長が見込まれている。2027年以降は中国が人口増加ペースの失速によって成長率が低下する可能性が高い一方、インドは引き続き若い世代を中心とした人口増加が成長率を牽引することが見込まれる。世界6位のGDP規模、人口増がもたらす持続的で高水準の経済成長期待が投資資金を引き付けていると考えられる。

図表2 IMFによるGDP予想



注 2021年以降はIMFの予想

出所 IMFのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20211227

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

インド株式市場について



《インド株投資の注意点》

インドは非居住者に対してインド株式市場への投資を制限しており、日本の個人投資家がインド株式市場で個別の株式を直接売買することは困難となっている。従って日本の個人投資家がインドの個別銘柄の株式を購入するには、ニューヨーク証券取引所に上場しているADRを購入することになる。弊社ではインド企業のADRのうち、図表3の7銘柄を取り扱うことが可能である。

図表3 取扱可能なインドのADR銘柄

コード (NY市場)	社名	企業紹介	株価(ドル)	平均出来高 (株)	時価総額 (百万ドル)
HDB	HDFC銀行	1994年にインド準備銀行から最初に設立承認された民間銀行。リテール(個人向け)事業、ホールセール(法人向け)事業、トレジャリー(外国為替など)事業などフルレンジの金融サービスをインド全土で展開。	63.25	1,635,795	116,837
IBN	ICICI銀行	商業銀行業務、リテールバンキング、保険及び投資信託事業、ベンチャーキャピタル、投資銀行業務など幅広い金融サービスを提供する、インドの有力銀行。	19.33	9,406,740	67,099
INFY	インフォシス	売上規模でインド2位のIT企業。欧米を中心に海外売上高が9割超となっており、技術力は高い評価を得ている。	24.73	7,738,816	103,630
RDY	ドクター・レディ・ラボ	ジェネリック薬品、医薬品用原体などの生産及び販売を手掛けるインドの大手医薬品企業。自社開発医薬品にも注力している。	62.79	142,308	10,416
TTM	タタ・モーターズ	インド3大財閥のひとつであるタタ財閥の中核企業で自動車メーカー。バス・トラックなどの商用車ではインド最大。乗用車でも国内5位以内に入っている。イギリスのジャガーやランドローバーを子会社としている。	31.21	1,889,498	23,901
WNS	WNS ホールディングス	ビジネス・プロセス・マネジメントサービスを手掛けている。金融、ヘルスケア、旅客業など幅広い業種に対応している。インド国内では株式の上場をしていない。	86.23	144,948	4,204
WIT	ウィプロ	インド3位のIT企業。コンサルティング等を中心としたITサービスと他社製品によるシステム構築などを軸としたITプロダクツの2つのセグメントで事業を展開する。	9.45	1,846,504	51,633

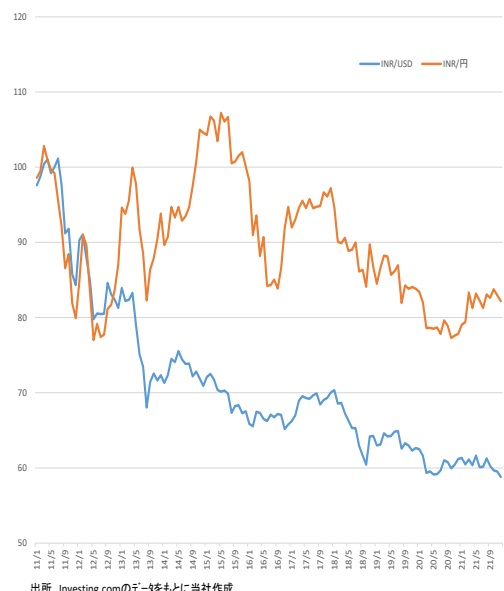
注 株価、平均出来高、時価総額はYahoo Finance(米国)12月23日分のデータによる
出所 各会社資料をもとに当社作成

《取引のリスクについて》

インド株式を購入するにあたっては発行企業のリスク以外にインド株式をドル建てで購入するため、為替リスクを負担することになる。2010年末を100として計算すると、2021年12月23日時点でインドルピーは円に対して84、ドルに対して60と、ルピーの下落が鮮明となっている。インドの貿易収支や財政収支の赤字が続いていることが主な要因と考えられる。円はドル安傾向で推移しているため、円に対するルピーの下落はドルほどではないが、2015年以降の下落傾向に歯止めがかかっていない。

アメリカ経済が好調に推移しているため、既に量的緩和の縮小を開始しているうえ、金利引き上げが視野に入っている。短期的には米国への資金還流によってインド経済を支える海外直接投資の金額が影響を受ける可能性に留意が必要だ。

図表4 インドルピーの対円、対ドル推移



出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20211227

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。